



酪農場	集送乳	製造・処理	保管・配送	販売
目標 # 12 持続可能消費と生産のパターンを確保する。 12 つの目標のうち9つを達成 需要に見合った量と質の生乳生産基盤の構築 生乳廃棄を最小限に（食品ロス削減）				
目標 # 9 飢餓に終止符を打ち、食料の安定的確保と栄養状態の改善を達成するとともに持続可能な農業を推進する。 2 つの目標のうち1つを達成 栄養と食品の安定供給と健康への貢献				
目標 # 3 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し福祉を推進する。 3 つの目標のうち1つを達成 酪農場での食育				
目標 # 4 全ての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し 4 つの目標のうち1つを達成 酪農という乳牛を飼う仕事、乳の持つ特徴への理解醸成				
目標 # 5 ジェンダーの平等を達成し、全ての女性と女児のエンパワーメントを図る。 5 つの目標のうち1つを達成 酪農乳業界を通じて女性が参画・活躍できる職場環境づくりが可能。				
目標 # 8 全ての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用及びディーセント・ワークを推進する。 8 つの目標のうち1つを達成 後継者不足、農業従事者減少 雇用の創出で貢献 小規模酪農家の公平な取り扱い				
目標 # 1 あらゆる場所であらゆる形態の貧困に終止符を打つ。 1 つの目標のうち1つを達成 ひいては貧困の減少へつながる				
目標 # 15 陸上生態系の保護回復及び持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の防止および逆転、生物多様性損失の防止を図る 15 つの目標のうち1つを達成 酪農セクターの環境負荷要因としての課題 土壌管理 糞尿処理 温室効果ガス(メタン)の排出を押しさえ				
目標 # 6 全ての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する。 6 つの目標のうち1つを達成 水の安全管理 牛乳の約88%が水分。乳牛が新鮮で衛生的な水が飲める環境で飼育することが大切。				
目標 # 13 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る。 13 つの目標のうち1つを達成 温室効果ガス削減で気候変動に対処する。 日本特有の四季の気象変化、自然災害適応力強靱さ				
目標 # 7 全ての人々に手頃で信頼でき持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する。 7 つの目標のうち1つを達成 牛の糞尿堆肥バイオエネルギー利用 穀物バイオエタノールとの競合				
目標 # 9 レジリエントなインフラを整備し包摂的で持続可能な産業化を推進すると共に、イノベーションの拡大を図る。 9 つの目標のうち1つを達成 酪農人手（労働力）不足対策としての搾乳ロボット導入など。 牛の個体毎のデータ管理IT機器				

12 つの目標のうち9つを達成
顧客の冷蔵庫に眠る食品

4 つの目標のうち1つを達成
学校給食における牛乳の役割

11 つの目標のうち1つを達成
人口都市に集中
都市近郊からの食品供給の役割増大
都市近郊ミルクサプライチェーンの必要性は？
(特に災害時の十分な食品供給体制は？)